

# 社会科学学習指導案

日 時 平成16年9月1日(水) 5校時  
対象生徒 3年A組(男子15名 女子19名 計34名)  
場 所 視聴覚室  
授 業 者 教諭 菊 池 勉

## 1 単元名 2 国の政治の仕組みと三権のはたらき 「一票の重みと意味」

### 2 単元について

本単元は、中学校学習指導要領社会科公民的分野の内容(3)ーイにあたり、地方自治の学習を手がかりに政治の基本的な考え方について理解させるとともに、国会や裁判の学習を通して、民主主義の意義について理解を深めるものである。また、その際、国民の政治参加の重要性や課題について気付かせることを主なねらいとしている。

本単元の前半では、「民主主義の学校」に代言される地方自治を題材として、政治の基本的な仕組み、住民の権利や義務などの学習を行い、自治意識を高める学習を行う。続く国会では、我が国の民主政治の仕組みやあらまし、政党の役割を理解させ、民主政治を推進するためには、世論の形成や国民の政治参加が大切であることに気付かせるとともに、選挙の意義について考えさせるものである。単元の後半では、裁判の種類や手続きなどを具体的な事例を通して、私たちの生活が法に基づく公正な裁判によって保障されていることを理解させるものである。

このように本単元全体では、司法・行政・立法の仕組みや働き、役割などについて民主主義の意義を自分たちの暮らしと政治を結びつけて考えさせる学習を展開する。

近年、公的年金の改革や公企業の民営化、地方分権に伴う市町村合併などの諸改革が進んでいる。これらの改革は、国民の生活に直結する大きな変化をもたらすものであり、改革に対する国民の意思表示という意味からも、「選挙」の意義や仕組みを学ぶことは重要な意味がある。今回の学習では、制度そのものの学習に加え、選挙の課題や「一票の重み」についても触れたい。これらを学習することを通して、「政治的な諸事象をとらえるための概念的な枠組み」や「政治的な見方や考え方」の基礎、すなわち、社会科における基礎・基本である「知識・理解・態度・能力」<sup>(1)</sup>の一部を身につけさせたい。また、模擬投票や政党のホームページを閲覧、調査するなどの具体的な活動をとおして、「政治」をより体験的に学習させたい。

生徒たちは、社会科に対して意欲的に取り組んでおり、定期テストでは平均的な得点をする者が多い。諸能力については、授業の様子から、資料を活用した読み取りや判断については得意とする生徒が多い一方、それらをまとめたり、発表する表現力が不足していると思われる。

「選挙」に関しては、小学校第6学年における国会の学習の際に学んでいる。このようなことから、生徒に対する事前のアンケート<sup>(2)</sup>では、「二院制」「国会の働き」「選挙の目的」などの既習事項については、基本的な知識が身に付いているとともに、地方の政治よりも国会における政治に興味や関心が高いことが明らかになった。しかし、一方で「選挙の仕組み」「投票の方法」など具体的な事項が理解されていないことが明らかになった。

そこで指導にあたっては、生徒の実態を踏まえ、選挙の仕組みを基本的事項として獲得させたい。日本における選挙制度の仕組みを予想し、選挙制度を相互に比較・検討させながら考察させる指導内容の構築が必要だと考えた。このようなことから、指導にあたっては、既習事項を生かし、課題に対する予想たてさせ、それを模擬投票や投票用紙で検証する課題解決的な授業を構築したい。そして、実際の投票場面を活用して、制度や仕組みの学習をより多面的・多角的に考察するとともに、選挙の意義を見出すような学習にしていきたいと考える。これらの学習を実現するために、下記の点を工夫していきたい。

板書の工夫をすること(学習内容を構造化し理解を深める)

評価場面を設定し、それに応じて発問や指示を工夫すること(評価規準、評価場面や指導の工夫)

作業的・体験的な学習の展開(学習内容のより具体的な検証や追求をはかる)

学習シートの活用(学習内容の定着をはかる)

これらの工夫を小単元で取り入れるとともに、単元全体として学習内容を構造化して捉えさせ、基礎的・基本的な内容を常に確認できるようにして学習を展開させたい。

### 3 単元の指導目標

- (1) 国や地方公共団体の政治に対する関心を高め、それを追求し、民主的な政治について具体的な例をもとに考えさせる。  
(関心・意欲・態度)
- (2) 国や地方公共団体の政治に関して、議会制民主主義、選挙の意義、裁判制度などについて、様々な資料から多面的・多角的に考えさせ、民主政治の在り方について公正に判断させる。  
(社会的思考・判断)
- (3) 国や地方公共団体の政治に関する様々な資料を収集し、学習に役立つ情報を選択して活用して追究させるとともに、考察した過程や結果をまとめさせ、発表させる。  
(資料活用の技能・表現)
- (4) 地方自治の基本的な考え方、地方公共団体や国会の仕組みや在り方、法に基づく公正な裁判の保障などについて理解するとともに、国民の政治参加の大切さに気付き、その知識を身につけさせる。  
(知識・理解)

4 単元全体の指導計画 計 13 時間

- 1 私たちの生活と地方自治（4 時間）
- (1) 地方自治を支える仕組み ----- 1 時間
  - (2) 地方自治の内容と参加方法 ----- 1 時間
  - (3) 地方自治の課題とこれから ----- 1 時間
  - (4) 地方自治との国とのかかわり ----- 1 時間
- 2 国の政治の仕組みと三権のはたらき（9 時間）
- (1) 国権の最高機関としての国会 ----- 1 時間
  - (2) 国会の仕組みと働き ----- 1 時間
  - (3) 一票の重みと意味 ----- 1 時間（本時）
  - (4) 国会で選ばれる内閣 ----- 1 時間
  - (5) 政党の働き ----- 1 時間
  - (6) 小さな政府を目ざして ----- 1 時間
  - (7) 憲法の番人 ----- 1 時間
  - (8) 私たちの人権を守るために ----- 1 時間
  - (9) 暮らしと政治 ----- 1 時間

5 本時の指導

(1) ねらい

日本の選挙制度の特徴と仕組み、選挙の原則について理解させる。  
 選挙の現状と課題について考えさせることを通して、選挙が国民の意思を政治に反映させるための方法であることに気づかせる。

(2) 本時における具体の評価規準

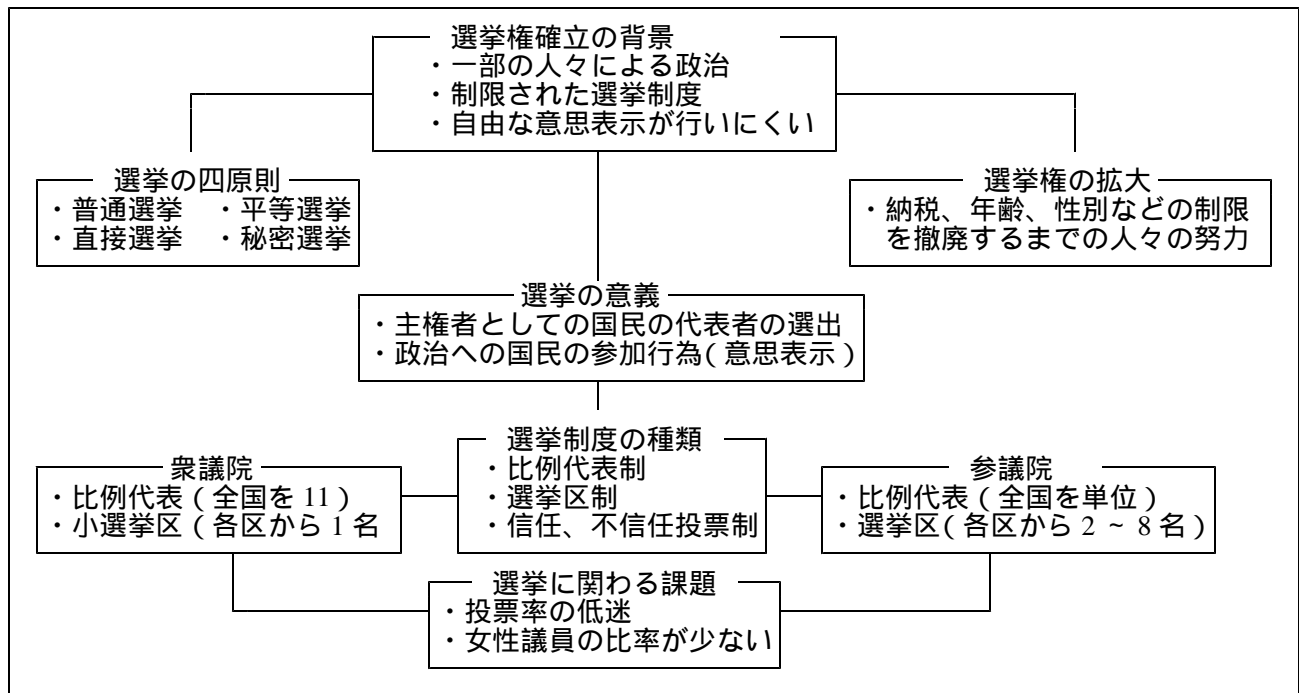
評価規準（小単元）	評価場面（方法）	具体の評価規準		
		十分満足（A）	おおむね満足（B）	努力を要する生徒への支援（C）
日本の選挙制度についてその仕組みとその特徴を理解している。 （知識・理解）	まとめ（プリント）	日本の選挙制度について、その名称と仕組みを正しく理解し、説明できる。	日本の選挙制度について、その名称と仕組みを正しく理解している。	黒板の資料をもとにイメージできるように補足する。
選挙の現状と課題について考え、選挙の意義に気づいている。 （思考・判断）	まとめ（プリント）	選挙区・比例代表選挙の良さや問題点から、日本では二つの選挙制度が併用されている理由を説明できる。	選挙区・比例代表選挙の良さや問題点から、日本では選挙区・比例代表選挙が併用されている理由を考えている。	他者の発言や板書をもとに、プリントに取り組みせよう助言する。

(3) 展開

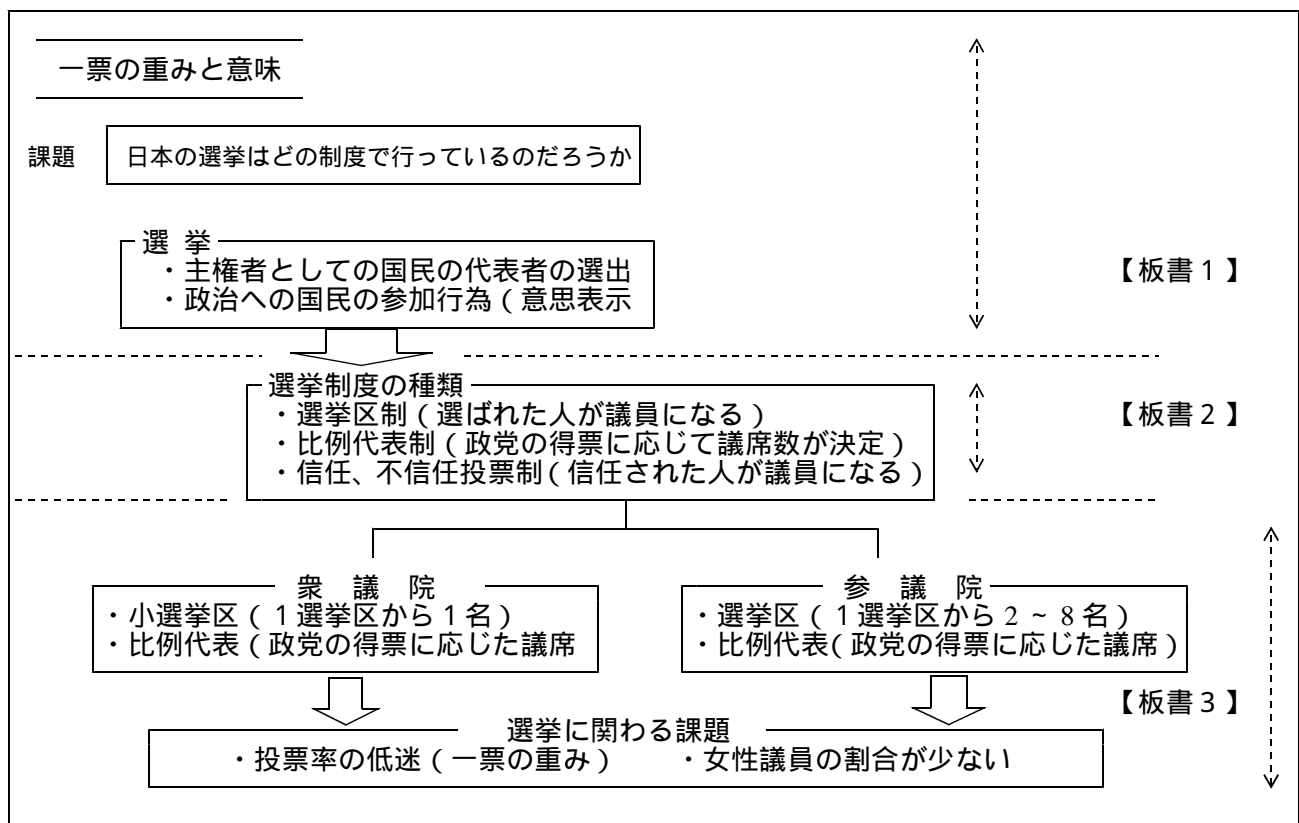
段階	学習内容と学習活動	指導上の留意点 ( 作業・体験活動 )	基礎 ・ 基本	評価				資料等
				関 心 意 欲 態	思 考 判 断	資 料 活 用	知 識 理 解	
課題把握 12分	<p>1.前時の復習</p> <p>2.選挙制度の種類と内容を確認する。 比例代表 選挙区 信任、不信任</p> <p>3.本時の課題を確認する</p> <p style="text-align: center;">— 学 習 課 題 — 日本の選挙はどの制度で行っているのだろうか</p>	<p>1.前時の復習を行う 【板書1】</p> <p>&lt;選挙の意味&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国民の代表者選出</li> <li>・政治参加の機会</li> </ul> <p>2.選挙制度の種類や内容を確認させる。【板書2】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な国の選挙制度</li> <li>・選挙制度の概要</li> <li>・政党の意味を確認する</li> </ul> <p>3.本時の課題を提示する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選挙の意味</li> <li>・比例代表</li> <li>・選挙区</li> <li>・政党</li> <li>・信任</li> <li>・不信任</li> </ul>					選挙制度資料
課題の追求 35分	<p>4.課題に対する予想をたてる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比例代表</li> <li>・選挙区</li> <li>・信任、不信任</li> <li>・比例代表+選挙区</li> </ul> </div> <p>5.予想の検証を行う。 (1)投票用紙から考える ・政党と個人名の記入</p> <p>(2)模擬投票から考える ・2回投票 ・政党と個人への投票</p> <p>6.選挙制度について具体的に考える。 ・当選者 ・議席配分</p> <p>7.選挙の問題について理解する。</p>	<p>4.選挙制度について選択させ発表させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習シートに記入させる。</li> </ul> <p>5.予想の検証を行う。 (1)投票用紙の記載内容を確認させる。</p> <p>(2)模擬投票を行わせる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・投票の方法を確認する。</li> <li>・約10名を指名によって票させる。</li> <li>2種類の選挙制度</li> </ul> <p>6.模擬投票の結果を利用し、当選者を計算させる。 当選者(数)を発表させる。 ・各制度上の特徴を補足する ・衆議院を例にする。</p> <p>7.選挙における課題を確認させる【板書3】</p> <p>小選挙区の投票結果をもとに、「死票の多さ」「小政党が当選できない」など問題点を指摘させる。 比例代表制の併用について補足する。</p> <p>投票率のグラフから気付いたことを言わせる。 久慈市議員選挙の例をもとに「一票の重み」について理解させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選挙制度の仕組みと方法</li> <li>・投票率</li> <li>・一票の重み</li> <li>・女性議員比率</li> </ul>					投票用紙 投票箱  投票率 久慈市議員選挙結果 女性議員割合

		女性議員比率のグラフについては、時間をみながらプリント学習で気づかせる。			
ま と め 3分	8.学習シートに基本的事項をまとめる。	9.学習シートに取り組ませる  ・机間巡視により指導や評価を行う。  ・次時に解説することを予告する。	・基本用語  ・選挙の概念		学習シート
				<p>A.選挙区、比例代表選挙の良さや問題点から考え、日本では二つの選挙制度が併用されている理由を説明できる。</p> <p>B.選挙区、比例代表選挙の良さや問題点から、日本では、選挙区・比例代表選挙が併用されている理由を考えている。</p> <p>C.他者の発言や板書をもとに、プリントに取り組ませるよう助言する。</p>	

6 学習内容の構造  
 (1) 本時の学習内容の構造図



(2) 板書計画



註

- (1) 宮本光雄『社会科の基礎・基本と意欲的な追求活動』東洋館出版社 1992年, pp.19-26 及び北俊夫『社会科の基礎・基本』明治図書, 2002年, p.25などを参考にした。
- (2) 授業を行う学級を対象に、事前に小学校の既習事項や生徒の興味関心に関わる11項目からなるアンケート(N=30)を行った。それによれば、国会が二院からなっていることを知っている生徒は90%、国会が予算や法律などを決めることが、主な仕事であることを知っている生徒が93.3%、普通選挙の意味については100%の生徒が知っているなど、小学校で習う基本的事項が身に付いていることが明らかになった。一方、選挙の実際については、投票の仕組みや方法について知っている生徒は、どれも40%以下であった。

基礎・基本を身につけさせるための授業の実践  
「社会科」資料編

平成16年9月1日  
久慈市立久慈中学校  
教諭 菊池 勉

# 「わかる授業」のとらえ方について

岩手県教育委員会『生きる力をはぐくむ学びの創造』（2003年）によれば、生きる力の育成につながる「わかる授業」とは、「基礎・基本を身につけさせる」ことが一つの条件となっている。わかるについて、安彦忠彦(1981)は3種類に分けている。そこで、本実践においては、「基礎・基本」を身につけさせるために、「3つの分かる」をそれぞれ授業に意識しながら実践を行うこととする。

本実践では「基礎・基本」の定着について、教材研究、作業的・体験的な活動、評価を取り入れた指導案の工夫の3点を実践研究の柱としている。具体的に示す通りである。

なお、まずはじめに、本実践を行う上での「基礎・基本」のとらえ方についても示すこととする。

## 1 基礎・基本のとらえ方

社会科の基礎・基本については、宮本光雄(1992)が「知識、技能、資質、知能」の4つを挙げ、北俊夫(2002)は、「理解、能力、態度」の3つを挙げている。本実践では、『学習指導要領』の作成に関わった北の説を援用しながら、下記のように社会科の基礎・基本を捉えた。

- (1) 知識：様々な基本的・基本的な知識
- (2) 理解：社会諸事象に対する自分なりの認識
- (3) 態度：資料活用や発表、社会参加につながる態度
- (4) 能力(態)：思考力、表現力、判断力などの諸能力

これらの基礎・基本を、単元全体の評価規準に位置づけながら実践を行うこととした。

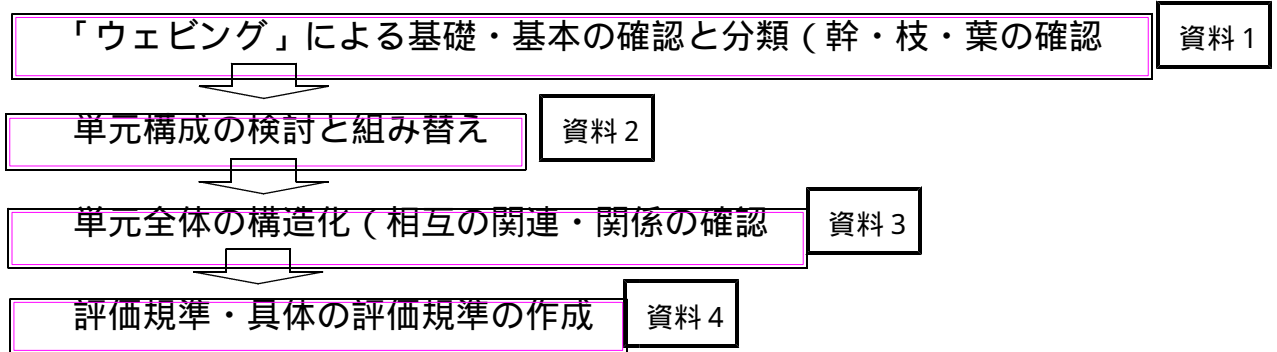
## 2 「わかる」のとらえ方

- (1) 分かる：他との区別や細かい所まで知ることができること
- (2) 解る：個と個のつながり、他との関係などを見つけることができること
- (3) 判る：(1)(2)の事柄を、自分の主体的判断を付け加えること

本実践では(1) (2)を育成することを中心とした。

## 3 具体的な実践研究

### 【柱1】 基礎・基本を身につけさせるための「教材研究」の流れ



### 【柱2】 基礎・基本を身につけさせるための「作業的・体験的な活動」

検証場面での「体験活動」

### 【柱3】 基礎・基本を身につけさせるための「評価様式・指導案掲載の工夫」

指導案への記載の工夫

評価規準表・具体の評価規準の一体化（一目でわかるように）

## 単元名 「 1 私たちの生活と地方自治 」

時間	学習項目 学習課題	評価規準	評価の観点				単位時間における主な学習内容				
			関 心 態 度	思 考 判 断	資 料 活 用	知 理	関 心 態 度	思 考 判 断	資 料 活 用・表 現	知 識 理 解	
1	1.地方自治を支えるための仕組み  住民の意思を生かす地方自治の仕組みはどのようなものだろうか	関心・意欲・態度  国や地方公共団体の政治に対する関心を高め、それを意欲的に追求し、民主的な政治について考えようとしている。									・久慈市の取り組みについての関心を高める。  ・地方自治の生まれた背景や仕組みについて理解する。 ・地方議会の働きや構成者を理解する。 ・地方議会選挙 ・地方自治法
2	2.地方自治の内容と参加方法  住みやすい地域にするために、自治体や住民はどのようなことを行っているのだろうか	社会的な思考・判断  国や地方公共団体の政治に関して、議会制民主主義や選挙の意義について多面的・多角的に考察し、民主的に政治の在り方について様々な考え方に判断している。									・住民参加の方法や条件などについて、新聞記事から読み取り、プリントにまとめ、発表する。  ・地方自治体の仕事や役割についての基本的事項を理解し、知識を身につける。 ・地方交付税交付金 ・国庫支出金 ・首長・条例 ・直接請求権
3	3.地方自治の課題とこれから  地方自治にはどんな課題があるのだろうか										・地方自治の課題や解決策について、既習事項や資料をもとに考える。  ・地方自治の課題を示した資料を選択、その内容を収集し、その内容を発表する。  ・オンブズマン制度について具体的な内容を身につける。
4	4.地方自治と国とのかわり  地方と国の政治はどのようにかわっているのだろうか										・市町村合併や遠野市の特区を例に、地方自治のこれからについて意欲的に考えようとしている。  ・構造改革特区に関する記事をもとに、中央との関わりから、地方における改革の重要性を考える。  ・中央集権と地方分権について、歴史的分野と関係させながら理解する。 ・地方自治法の改正 ・構造改革特区 ・市町村合併



## 単元名 「 2 国の政治の仕組みと三権のはたらき 」

時間	学習項目 学習課題	評価規準	評価の観点				単位時間における主な学習内容				
			関 心 態	思 考 判 断	資 料 活 用	知 理	関 心 態	思 考 判 断	資 料 活 用 ・ 表 現	知 識 理 解	
1	1. 国権の最高機関としての国会  国会はなぜ国の最高機関なのだろうか	資料活用の技能・表現  国や地方公共団体の様々な様式、情報を利用して、まとめたたり、説明したりしている。								<ul style="list-style-type: none"> <li>・国会の基本的な原則や制度について、歴史的背景から考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国会の果たすべき役割や性格、仕組みについて知識をもつ。</li> <li>・国会の基本的な原則や制度について理解する。</li> <li>・二院制</li> <li>・代議制</li> <li>・直接民主制</li> <li>・本会議</li> </ul>
	2. 国会の仕組みと働き  国会はいつ、何をどのように決めているのだろうか						<ul style="list-style-type: none"> <li>・国会の主な仕事について、いつ、何を、どのように決めているか、教科書や憲法条文をもとに意欲的に考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国会の主な仕事について示された新聞記事を適切に選択し活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国会の種類や主な仕事、審議の流れについて理解し、知識を身につける。</li> <li>・国会の種類と仕事</li> <li>・公聴会</li> <li>・衆議院の優越</li> </ul>		
	3. 一票の重みと意味  日本はどの選挙制度をとっているのだろうか						<ul style="list-style-type: none"> <li>・選挙制度の現状と課題について考え、選挙の意義に気づく。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・選挙制度について理解し、一票の重み、選挙の課題についての知識を身につける。</li> <li>・選挙区選挙</li> <li>・比例代表選挙</li> </ul>		
	4. 国会で選ばれる内閣  内閣総理大臣や内閣はどのように選ばれるのだろうか							<ul style="list-style-type: none"> <li>・内閣と行政機関の関係、内閣の仕事について憲法条文や資料を積極的に活用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議院内閣制下の政府について理解し、その知識を身につける。</li> <li>・議院内閣制</li> <li>・内閣総理大臣</li> <li>・国務大臣</li> <li>・衆議院の解散</li> <li>・総辞職</li> <li>・内閣の仕事</li> </ul>		

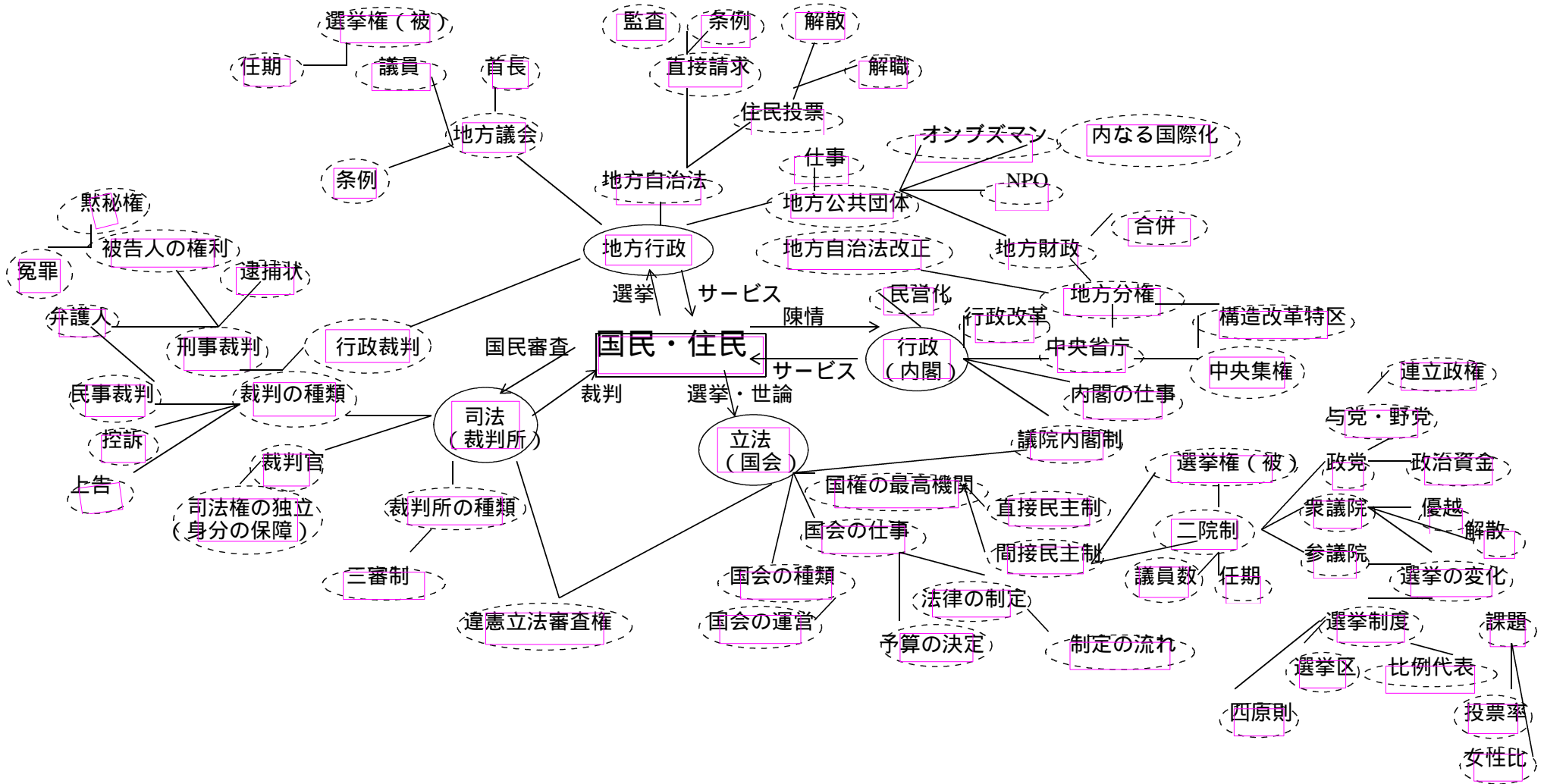
時間	学習項目 学習課題	評価規準	評価の観点				単位時間における主な学習内容			
			関 心 態	思 考 判 断	資 料 活 用	知 識 理 解	関 心 態	思 考 判 断	資料活用・表現	知識 理解
5	5. 政党の働き なぜ、政党をつくるのだろうか	知識・理解 地方自治の基本的な考え方、地方公共団体の政治の仕組み、国会を中心とする我が国の民主政治のあらまし、政党の役割、多数決の原理とその運用の在り方、法に基づく公正な裁判の保障について理解するとともに、公正な世論の形成と国民の政治参加の大切さに気付き、その知識を身につけている。							<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 政党のもつ意味や働き、それぞれの政党の特色について調べ、その必要性について公正に判断する。</li> <li>・ 政党の種類や政策について調べ、政党の特色について考察した結果をプリントにまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 政党による政権獲得や議会の運営について理解し、その知識を身につける。</li> <li>・ 政党・連立政権</li> <li>・ 世論・与野党</li> <li>・ 圧力団体</li> </ul>
6	6. 小さな政府を目ざして より民主化をすすめるためにどのような行政改革が行われているのだろうか					<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民主主義の在り方、政治参加の方法について「小さな政府」や行政改革をもとに考えようとしている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中央省庁の種類や働き、行政改革事項を理解する。</li> <li>・ 行政改革</li> <li>・ 1府12省庁</li> <li>・ 民営化</li> </ul>	
7	7. 憲法の番人 なぜ多くの種類の裁判所があるのだろうか					<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私たちの人権や社会秩序を守る裁判の種類や方法について意欲的に追究する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 裁判所の種類、裁判の回数などから、私たちの人権や社会秩序が守られていることを考える。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 裁判の果たす役割や仕組み、種類などについて理解し、その知識を身につける。</li> <li>・ 裁判所の種類</li> <li>・ 三審制（控訴、上告）</li> <li>・ 違憲立法審査権</li> <li>・ 三権分立</li> <li>・ 国民審査</li> </ul>	
8	8. 私たちの人権を守るために 裁判はどのように進められるのだろうか						<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 被告人の権利、裁判で起こる問題について示した資料を読み取り、人権保障の在り方について公正に判断する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ビデオから民事、刑事裁判の違いについて読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 裁判の種類や内容などについて理解し、その知識を身につける。</li> <li>・ 被告人の権利</li> <li>・ 刑事、民事裁判</li> <li>・ 起訴、被告人、弁護人、検察官</li> </ul>	

時間	学習項目 学習課題	評価規準	評価の観点				単位時間における主な学習内容			
			関 意 態	思 ・ 判	資 ・ 表	知 ・ 理	関 意 態	心 欲 度	思 考 断	資 料 活 用 ・ 表 現
9	9.暮らしと政治  司法・行政・立法、地方自治はどのように社会を成り立たせているのだろうか							・三権分立を示した図に、既習事項を活用して正しく判断し、相互の働きをまとめる。		・三権分立を示した図に、適切な語句を記入し、民主主義社会を作り上げている関係を理解する。 ・司法,行政,立法 ・三権の関係

# 第2章「暮らしとつながる政治」のウェビング

資料 1

基礎・基本的概念  
 基礎・基本的事項



## 第2章「暮らしとつながる政治」における基礎・基本

資料2

### 1 私たちの生活と地方自治

#### 1 地方自治を支えるための仕組み

- ・住民の代表としての地方議会
- ・地方議会（首長、議員）
- ・議員選挙、議員の任期
- ・条例

#### 2 地方自治の内容と参加方法

- ・地方自治法
- ・地方公共団体（仕事と役割）
- ・住民投票（解散、解職）
- ・直接請求（監査、条例）

#### 3 地方自治の課題とこれから

- ・地方財政
- ・内なる国際化
- ・オンブズマン制度
- ・市町村合併
- ・地方公共団体の仕事の多様化

#### 4 地方自治と国とのかかわり

- ・地方自治法の改正
- ・構造改革特区
- ・中央集権と地方分権

### 2 国の政治の仕組みと三権のはたらき

#### 1 国権の最高機関としての国会

- ・直接民主制と代議制（間接民主）
- ・多数決の原理
- ・二院制（衆議院と参議院）
- ・衆議院の優越（解散）
- ・議員数、任期、選挙権（被）

#### 2 国会の仕組みと働き

- ・国会の仕事（法律の制定、予算の決定等）
- ・国会の種類（常会、臨時会、特別会、緊急）
- ・国会の運営（本会議、委員会、公聴会）

#### 3 一票の重みと意味

- ・選挙の意義
- ・選挙権獲得の歴史
- ・選挙制度（比例代表、選挙区）
- ・選挙に係わる問題（死票、投票率、女性比率）

#### 8 国会で選ばれる内閣

- ・行政と内閣
- ・議員内閣制
- ・国会の解散と信任、不信任
- ・内閣の仕事

#### 9 政党の働き

- ・政党政治の役割
- ・与党、野党
- ・連立政権
- ・政治資金
- ・圧力団体、世論とマスコミ

#### 10 小さな政府を旨として

- ・小さな政府と大きな政府
- ・行政改革と中央省庁
- ・民営化
- ・国会議員と省庁

#### 11 憲法の番人

- ・裁判所の種類
- ・三審制
- ・裁判官（独立、身分の保障）
- ・違憲立法審査権

#### 12 私たちの人権を守るために

- ・裁判の種類（刑事、民事、行政）
- ・被告人の権利
- ・弁護士（弁護士）、被告人、原告
- ・起訴、控訴、上告
- ・被告人の権利（黙秘、冤罪）

#### 13 暮らしと政治

- ・司法・行政・立法、地方自治の働き
- ・相互の関係とまとめ

